

# 知財の広場

## 中小企業・地域における知的財産活動について “特許行政年次報告書 2021 年版” より

特許庁から、知的財産をめぐる国内外の動向と特許庁における取組について、直近の統計情報等を基に取りまとめた資料が「特許行政年次報告書 2021 年版」として公開されています。

<<https://www.jpo.go.jp/resources/report/nenji/2021/index.html>>



下図（右）のとおり 2020 年の中小企業における特許出願件数は、39,789 件（前年比 0.5% 増）、内国人出願における中小企業の出願件数比率は、17.5% でした。参考までに、2015 年の特許出願件数は、36,017 件、その出願件数比率は、13.9% でした。

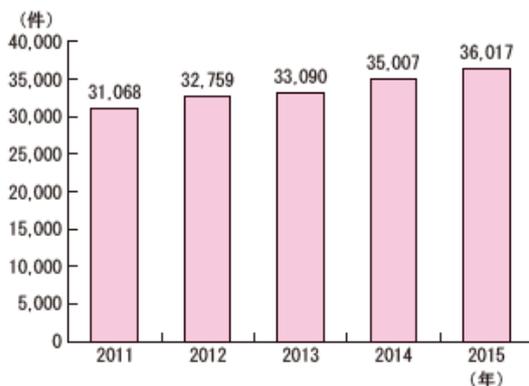
5 年間で出願件数比率が 3.6 ポイント上昇している要因は、中小企業の特許出願件数の増加と内国人全体の出願件数（約 22.7 万件）の低下と考えられます。

日本全体の中小企業数は全企業数の 99.7% 以上と 5 年前と変化していない状況下では、産業の発達、イノベーションを促進させる上でますます中小企業、スタートアップ企業の果たす役割は大きくなると考えます。

INPIT 滋賀県知財総合支援窓口の重要な任務を再認識する次第です。

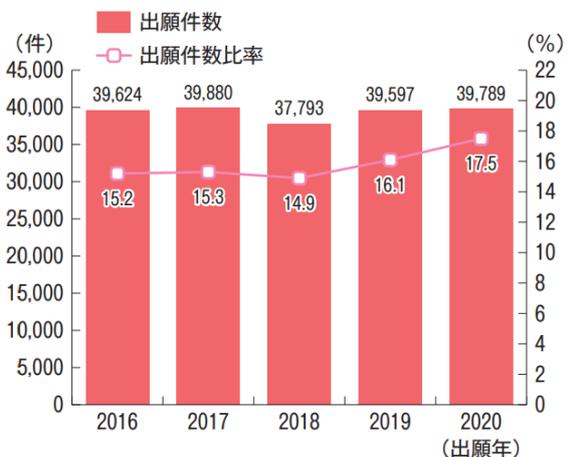
木村誠治（知財ナビゲーター）

中小企業の特許出願件数の推移



引用：特許行政年次報告書 2016 年版

1-3-2図 中小企業の特許出願件数の推移



引用：特許行政年次報告書 2021 年版